

令和元年12月11日

磐田市長 渡部 修 様

磐田市再発防止対策検証委員会

委員長 日誌一幸

委員 辻 廣典

委員 内山 昌美

磐田市公契約関係競売入札妨害事件に対する
原因究明と再発防止対策についての提言書

当委員会は、磐田市において平成31年2月に、退任した前副市長、都市整備課長（当時）及び菱和設備株式会社浜松支店長（当時）の3名が、公契約関係競売入札妨害罪で逮捕・起訴され、その後、有罪判決を受けるという事件が発生したことを受け、市が行う事件の原因究明及び再発防止策について客観的な評価及び検証を行うとともに、再発防止対策をより効果的なものにするため設置されました。

当委員会は、これまで3回開催し、市担当部局から現在の入札や契約制度ほか、市が実施した職員実態調査（アンケート）や事業所アンケートの分析結果、再発防止対策などについて説明を受け、検証し議論を重ねてきました。

本日、当委員会として市がこれまで行ってきた原因究明及び今後取り組む再発防止対策について提言をまとめたので提出します。

市長におかれましては、本提言を踏まえ、早急に再発防止対策を取りまとめ、迅速かつ着実に実施するとともに、組織の再生・活性化に取り組み、市民サービスのさらなる向上と一日も早い市政の信頼回復を図ることを期待します。

(1) 職員全般に関すること

- ①職員は、今回の事件を教訓とし、磐田市職員であることの誇りと高い倫理観を持ちながら公務員としてのあるべき姿を常に問いかけ、自らを律していただきたい。そして、不祥事を根絶するという強い決意をもって再発防止対策を速やかに実施に移し、住民福祉の増進と市民サービスの向上に向けて職員一丸となって取り組んでいただきたい。
- ②職員倫理規程や公益通報制度について、認知度が低いということは課題であり、制度周知や研修等の機会を与え、育成を図っていただきたい。
- ③市役所内部の相互にチェックする機能を高めるとともに職員倫理の向上に向けて、職員の昇格試験時など、あらゆる機会を捉えて、職員倫理規程や公益通報制度等の周知徹底を図る取組みを進めていただきたい。
- ④管理職と年齢が近く、本来、率先して仕組みを整えるべき立場の年代である40歳代・50歳代の職員が、気軽に相談したり意見を言い合える職場環境の整備や、ミス防止に対する意識が高くないのは問題であり、特に、この世代へ働きかけ、内部統制を強化していただきたい。

(2) 管理職に関すること

- ①部下は上司を慕い、上司も部下と良い関係が築けていて信頼関係が強ければ、互いに迷惑をかけてはいけないという関係性ができ、悪いことはしない方向に行く。管理職の職員は、部下を力によって管理するのではなく、良好な信頼関係づくりに尽力していただきたい。
- ②管理職の職員は、所管業務について部下任せにせず、部下職員からの報告・連絡・相談については真摯に対応するとともに、業務処理に対しては常に最悪の事態を想定するなど、危機管理意識の醸成とリーダーシップの発揮を徹底していただきたい。

(3) 組織に関すること

- ①事件の発生要因には、組織として不正行為等に対するチェック機能、防止機能が不十分であったことも挙げられる。今後、このような事件を起こさないためにも、職場のチェック体制や監視、防止体制の確立に一層取り組んでいただきたい。
- ②管理職と管理職以外の職員や世代間においてギャップがあり、組織内には気軽に相談できない人も存在しており、それが事件につながる要素にもなることから、風通しが良く、相談しやすい職場環境の整備を図っていただきたい。

- ③今回の事件を受け、職員の組織に対する失望や落胆の度合いは大きかったと推測される。しかし職員実態調査に全職員が真剣に回答し、多くの意見があったことは、組織の再生を願っている心の現れであり、職員としての誇りの現れでもある。これらを組織再生のエネルギーに変え、再発防止と日々の業務に前向きに取り組んでいただきたい。
- ④入札関係の事務が多い産業部、建設部、環境水道部において、ダブルチェックや手順書、ミス防止に対する意識が高くないことは内部統制の意味からも危惧するところであり、再発防止の取り組みの中で対応していただきたい。

(4) 特別職に関すること

- ①今回の事件は、法令遵守を推進する旗振り役だった組織のリーダー等が事件に関わっており、時代にそぐわない古い体質が残っているように思われることから、組織の体質改善に取り組んでいただきたい。
- ②退任した前副市長が、在職していた時のような権限を持ち続けていたことが問題である。リーダーシップの発揮がなければ組織は動かないが、それが不当に動けばハラスメントのような問題が生じることを肝に銘じていただきたい。

(5) 入札に関すること

- ①事件後、入札に係る不正行為を防止するため予定価格を事前公表にしたが、事前公表と事後公表のメリットとデメリットについて、今後も継続的に検証を行いながら、入札全般について必要に応じた見直しをしていただきたい。

(6) その他

- ①市民や事業所に、市の制度や仕組みを十分に理解していただくことも再発防止につながるものであり、積極的な意見聴取と情報提供に努めていただきたい。
- ②再発防止対策を進めるにあたり、法令遵守や規制だけが強調されることによって、職員が本来持っている創造性や想像力を発揮する機会を奪ってしまうことがないように、表彰制度の充実や能力・実績に応じた昇進・昇格などにより、活力を生む組織運営を実践していただきたい。
- ③再発防止策の有効性が持続的に維持されているか、または実施状況がどうかなどを定期的に検証と評価を行い、必要であれば見直しをしながら継続的に取り組んでいただきたい。

以上